

第1回 西大阪便教会 活動報告

平成27年1月31日(土)第1回西大阪便教会を大阪府立寝屋川支援学校をお借りして開催させていただくことができました。寒い中ではありましたが、12名の皆様にお越しいただき、トイレ掃除を行いました。トイレ掃除と出逢わせていただいて1年と少ししかならない私にできるのかという葛藤がありました。しかし、鍵山先生の「一人の100歩より、100人の一步を」と鍵山教師塾でお話いただいたのに加えて、私の周りで多くの方々が勇気を出して、便教会を立ち上げられていく姿に感銘を受け、開催させていただいた運びです。

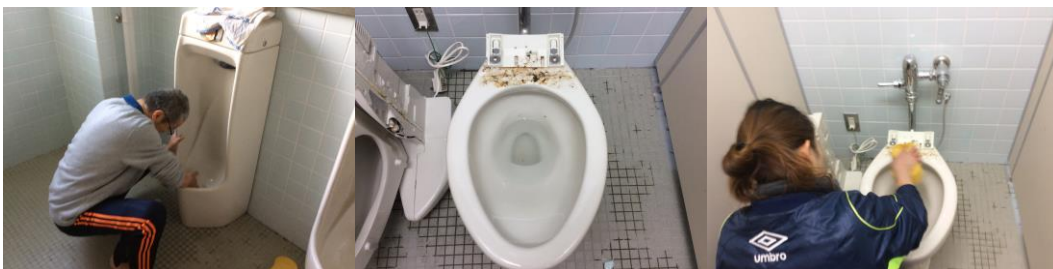
1、開催までに、

この度、西大阪便教会を開催させていただけたのは、本当に多くの方々に支えられてのことです。感謝申し上げます。私がこの便教会を立ち上げさせていただくことを表明したのは、小峠大地先生が世話人をされている、第2回奈良便教会に参加させていただいた、感想発表の場です。その日は、トイレ掃除をさせていただくというよりも、私の中では便教会を立ち上げることを言いに行く場であったように思います。いざ立ち上げさせていただき、会場手配や人集めなど、多くの準備がありました。そこで、私はいつも大阪便教会やいろいろな便教会に参加させていただいていて、準備の場などの見えないところでの苦労が全く見えていなかったのだな、いや、見ようとしていなかったのだなと感じさせていただきました。その見えないところでの準備にこそ、大切な何かがあるように思います。一つの理由としましては、大谷育弘先生の存在です。案内文の添削から、一斉メールの送信、多くの相談までしていただきました。西大阪便教会と名前はありますが、誰が便教会をしているのかわからない状態です(笑)

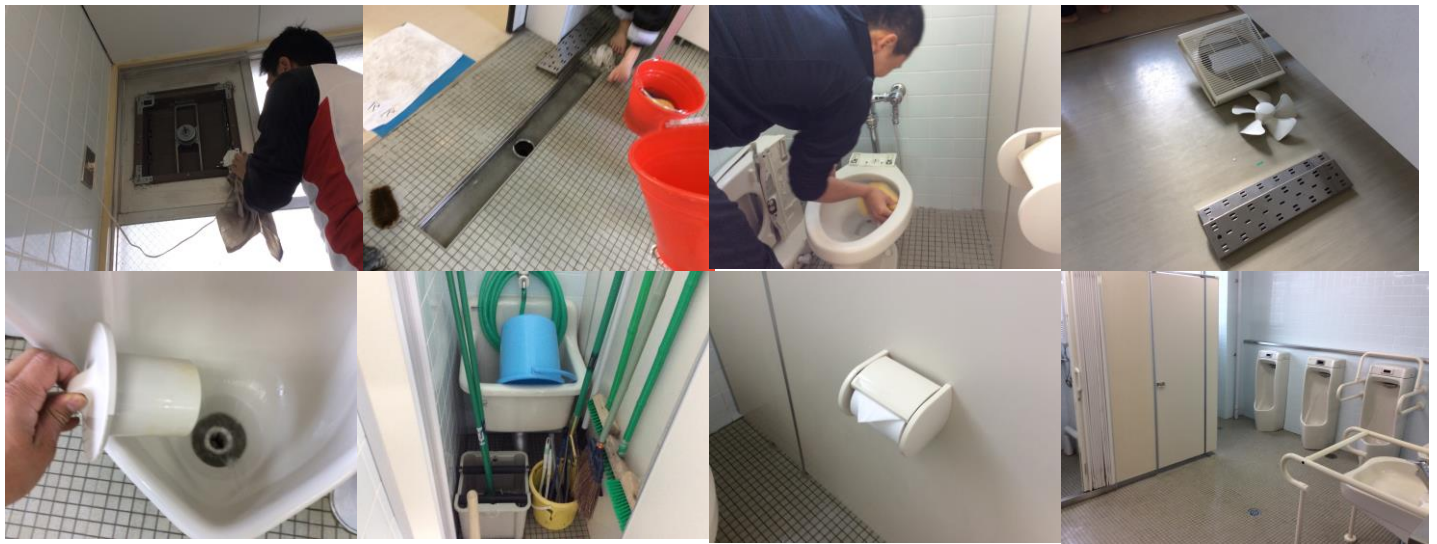


2、トイレ掃除をさせていただいて、

岡本頼子先生をリーダーに13名でトイレ掃除に取り組ませていただきました。全員がトイレ掃除を経験されていたので、岡本頼子先生のリーダーの元、とても良い雰囲気、息の合った関係、トイレを通じて空間・人間・道具の全てが一体化・調和されているように感じました。比較的新しい作りのトイレで、学校の生徒が普段から掃除に取り組んでくれるので、あまり汚れていないだろうと思っていました。しかし、尿漉しや釣鐘、排水といった目に見えていないところの汚れが非常に多く、こんなにも汚れているのかと驚きました。そして、どんどんと進めていくうちに、便座をガバッと外すと、今までこの便器が触れられたことのないような汚れが出てきました。どのような汚れに対しても、目を背けることなく向き合っておられる皆様から、多く感じさせていただきました。



られる皆様から、多く感じさせていただきました。



3、懇親会で、

トイレ掃除から多くのことを気づき、学ばせていただいています。終了後の感想発表の場でも本当に多くの気づきや学びを頂いています。第1回西大阪便教会では、一人の高校3年生が参加してくださりました。その高校生が最後に感想を言ってくださった感想が、とても印象に残っています。「トイレ掃除をすると、清々しさを感じる、終わった後はそのトイレだけの空気が違う、それはみんなに囲まれているから、、、」高校生の感性に驚きを隠せませんでした。私自身、最初は清々しいなと感じていたのに、日常の掃除からはそんなこともわからなく、感じなくなっています。それは、知らず知らずの間に学校の生徒に対しても、どんどん要求が高くなっていき、一方通行になっているように思います。今回、高校生が参加していただけたのは本当に良かったです。

4、最後に、

本日は世話人という立場で、いろいろなところを見させていただきましたが、トイレ掃除はこうやってするんだよ、私はこうやって生きてきたんだよと語られなくても、参加されてトイレ掃除をされている皆様の背中からひしひしと伝わってくるようで、一人で鳥肌が立っていました。この場に居られる幸せ、今日来ていただいた方々と出逢わせていただいた幸せ、そして何より、生きていることの幸せを感じていたのだと思います。そのように毎日感じていられると、もっと厚みのある人間になれるのかなと思います。私はまだまだその場限りになってしまっています。だから、続けていかないといけないのです。

やはり、どのようなことに対しても、目に見えている部分は一部分にしか過ぎなくて、目に見えてないところに目を向けることで、人として成長できるのかなと体感しました。自分自身が目に見えないところを見えるようになるための感性を養うために、トイレ掃除を日常に落とし込む必要があります。トイレ掃除をすればこんな良いことがあるのだとか、スポーツに勝つためにトイレ掃除をするのではなく、もちろん始まりはそうかもしれませんが、やり続けることでそのような考えは無くなっていき、全てが自然になっていきます。それが日常に落とし込むということなのだ、大谷育弘先生に気付かせていただきました。私はまだまだ目的・目標のために取り組んでいるように思います。ただひたむきにトイレ掃除ができるように、日々の日常に落とし込んでいきます。

今日平成 27 年 1 月 31 日に西大阪便教会を開催にあたり、本当に多くのご支援をいただいていたことに心から喜びを感じています。参加していただいた皆様はもちろんですが、参加されていない多くの皆様にお力を頂いたおかげで、開催することができました。この場をお借りして、感謝申し上げます。まとまりのない文章で申し訳ありません。

ありがとうございます。

西大阪便教会 世話人 西橋聖次

